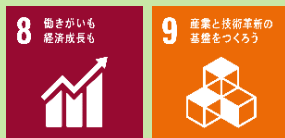


産業連関分析による地域経済分析に関する研究

研究分野: 農業経済学・地域経済学

キーワード: 農業・食産業・産業連関分析・地域経済分析

貢献できるSDGsの区分:



地域創造学部 公共政策学科 教授 吉本 諭

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/yoshi-s/>

研究概要

農業経済学・地域経済学が専門分野です。具体的には、食料・農業・農村および地域の経済分析に関する研究を行っています。

食料・農業・農村の重要性については定性的には言われることですが、どの程度重要なのか、どの程度地域に貢献しているのかはわからない場合があります。その疑問に対して経済分析をとおして定量的に指標を提示する、そしてこれからの食料・農業・農村および地域を考える研究を続けていきます。

2021年3月に、博士学位論文等をもとにまとめた著書『フードシステムの産業連関分析－北海道の食産業を考える－』農林統計出版(単著)を出版しました。同書は、食が生産者から消費者に届くまでに必要な食産業の一連のつながりをフードシステムと定義した上で、北海道と都府県との相互依存関係を考慮したフードシステムの産業連関構造を分析し、北海道食産業の付加価値創造の構図を明らかにしたものです。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- 研究では、主な分析手法として、産業連関表に基づく産業連関分析を用いています。
- 地域への施策効果・事業効果の定量的な把握が求められる中、自治体等において産業連関分析による地域経済分析(とくに経済波及効果分析)が実施されるようになってきました。
- その上で、産業連関分析による地域経済分析に関して連携できる可能性があると考えます。
- その際、当該自治体の産業連関表が事前に作成されていることが望ましいです。
- 教育・研究等のため実施できることに限りはありますが、まずはご相談ください。

外部との連携実績等

- 科研費 基盤研究(C) 地域間産業連関分析による離島振興に向けた経済構造の解明
研究代表者: 吉本 諭、研究期間: 2022年度～2025年度
- 農業が他産業に与える影響調査 研究期間: 2019年度